

委員会 会議録

1. 委員会の名称 令和元年度 第1回下水道事業経営委員会
2. 開催日時 令和元年8月28日(水) 午後1時30分～午後3時10分
3. 開催場所 熊取町役場 北館3階 大会議室
4. 出席者 委員：6人
事務局：町長
上下水道部長、上下水道部理事(下水担当)、下水道課長
下水道課長補佐兼経営グループ長、経営グループ主査
5. 公開・非公開の別 非公開(令和元年度第1回)
6. 委嘱状の交付 町長より委員6名に交付
7. 議 事 案件1 委員長及び副委員長の選出について
案件2 熊取町下水道ビジョン(経営戦略)について
案件3 スローガン・キャッチフレーズについて
案件4 委員会の公開について
案件5 今後のスケジュールについて
その他
8. 議事の概要

案件1 委員長及び副委員長の選出について

議事内容

1. 委員長が空席のため、町長が仮議長となり議事進行
委員の互選により、富田安夫委員を委員長に決定
2. 富田委員長が議長となり議事進行
委員長の指名により、梅田康雄委員を副委員長に決定

【委員長 富田安夫氏】
【副委員長 梅田康雄氏】

案件2 熊取町下水道ビジョン(経営戦略)について

事務局説明 パワーポイントにて説明 資料P1～P38

1. 下水道事業経営委員会の目的
2. 熊取町下水道ビジョン(経営戦略)策定の背景
 - ① 国からの通知
 - ② 「下水道ビジョン」とは
 - ③ 「経営戦略」とは
 - ④ 「整備計画」とは
 - ⑤ 「ストックマネジメント計画」とは
 - ⑥ 「町の取り組み」
3. 下水道の役割と効果
 - ① 下水道の役割
4. 熊取町下水道事業の現状
 - ① 大阪府内の下水道普及率
 - ② 下水道事業の沿革
 - ③ 施設の概要
 - ④ 認可計画
 - ⑤ 行政区域内人口・整備区域内人口・普及率
 - ⑥ 水洗化人口・水洗化率
 - ⑦ 整備区域内世帯・水洗化世帯
 - ⑧ 収入
 - ⑨ 支出
5. 下水道事業を取り巻く変化と今後の課題
 - ① 維持管理施設の増加(汚水管渠)
 - ② 維持管理施設の増加(雨水管渠)
 - ③ 維持管理施設の増加(マンホールポンプ)
 - ④ 未普及地域への整備促進
 - ⑤ 人口の減少
6. 熊取町下水道ビジョン(経営戦略)の策定に向けて
 - ① 策定の目的
 - ② 策定までの取り組み
 - ③ 構成
 - ④ 計画策定に関する業務委託について

主な意見・質疑		回 答
1	人口減少となるときには、個人の下水道使用料は増えていくのか。	現在、詳細シミュレーションは未実施ですが、人口減少に伴う収入が減少すれば、料金見直しも必要と思われます。
2	収支バランスが赤字となる時期に料金を見直すのか。	そう考えます。 ただし、公営企業となって1年であり、ようやく決算を迎えたところなので、今後を見極める必要があります。
3	料金については、今後の経過が必要ですか。	収支バランスをとっていく中で、料金の検討も必要と考えます。
4	熊取町の下水道使用料が他市町と比べ高いように感じるが、状況はどうか。	下水道使用料については、堺市以南13市町でほぼ中間で高い方から7番目となっています。
5	大きな会社があれば、一般家庭での料金がカバーできるのか。	本町の料金体系は基本料金からの超過料金では、使用水量が一番少ない部分で110円、多い部分で330円となっています。
6	3倍の差があるのか。	逓増度が3となり、大阪府内では平均的となります。 逓増度を高くすれば、儲かりますので収入は増加します。 近隣市町では臨海部の工場やホテルなど大口利用者が多いため、小口の料金を安くできますが、本町は住宅街ですので難しい状況です。
7	国からの通知では経営戦略策定率100%達成を来年度中と計画しているが、可能か。	来年度中に策定予定としています。 ただし、地方交付税の関係もあるため総務省に確認したところ、それまでの間は毎年暫定版でも可とのことでした。
8	町の下水道普及率100%達成は何年後か。予想はあるのか。	現時点では、完了年度をお示しできる状況ではありません。 現在公表している総合計画では令和7年度末の下水道普及率の目標を90%としています。 年間0.7%から0.8%の普及率拡大となっています。

主な意見・質疑		回 答
9	下水道整備に対して大阪府からの補助金はあるのか。	以前はありましたが、現在はございません。
10	国からの補助金と個人の負担で賄っているのか。	はい。そのとおりです。
11	国からの補助金が少なくなってくれば、普及も遅れるのか。	整備には、今後とも国補助金が第一ではありますが、補助金が削減された場合でも、起債を少し増額するなど、料金とのバランスをとり補助率が少し下がっても整備できるような計画を策定したいと考えています。
12	現在の計画で普及率100%という計画にはなっているのか。	全体計画では、普及率100%を目標としていますが、現在の事業認可区域は下水道特集号の紫色の線で囲まれた区域内となっています。 認可計画はあくまで概ね7年先までの整備区域を決定したもので、金額についても、面積当たりの概算金額となっています。 下水道ビジョン策定にあたり、事業認可区域内での費用や整備計画について検討してまいります。
13	現在の整備計画では整備時期、費用は明確に出していないということか。	あくまでも概算となっておりますので、下水道ビジョンにおいて概ね5年間程度の整備区域を見える化していきたいと考えております。
14	小垣内地区の整備を推進されていますね。	未整備区域については、小垣内、緑が丘、久保、小谷、朝代、和田、関空国際、成合、高田となっています。 普及率は81.1%となりましたが、今後は人口密度が低い地域となり整備効率は低下していきます。
15	コンパクトシティとして、市街地を狭めた費用の削減はあるのか。 今まで通り整備を広めることによって、将来的には効率も悪く財政負担も大きくなるため、バランスをこの委員会で検討するのか。	整備区域のフレームは、全体計画、国の認可、流域下水道への参画もあるため変更はありません。 本町の場合、市街化区域と調整区域は道路を道路をまたぎ隣接するため、50m程度整備すれば利用できる地域となるためです。 本町の場合、すでにコンパクトシティとなっているのではないかと考えています。

主な意見・質疑		回 答
16	経営戦略と整備計画ならびにストックマネジメント計画の3本の柱で整備計画の投資額について、経営戦略との関連以外に、整備計画とストックマネジメント計画の関連はあるのか。	50年の長いスパンで見れば、関連があります。 企業会計では、施設を整備した時点から管理が必要となり古くなっていきます。 収入は上がりますが、管理物件も増加することとなります。 30ページの整備のグラフのように短期での整備の大きな増加は今後抑えるべきと考えます。なぜなら、将来の更新が一度に来るため、そういった状況を避けるため、整備も平準化すべきと考えています。
17	ストックマネジメント計画は50年経過した施設が対象となるのか。	現在の町の施設で50年経過している施設はほんの一部です。 法定耐用年数は50年ですが、実質耐用年数として国や先進市町村では寿命を1.5倍に延伸し75年とする考えがあります。 優先順位やリスクを検討し、リスクの高い箇所から点検調査をし、修繕改築計画を策定したいと考えています。 修繕改築を実施しても収入増には結びつきませんが、少しでも財源を確保するため、この5年間の点検調査への国の補助金が活用できるよう考えています。
18	下水道の維持管理費は基本的にあまりお金がかからないという理解でしょうか。例としてマンションなどは比較的短期間で塗装などの大規模修繕を実施するため、短期的に維持管理費は結構必要ですが、下水道の場合、そういう観点からはあまり考えなくても良いとのことか。このようなひび割れなどの修繕は下水道として今後必要であるのか。どう考えていくのか。	下水道施設は地下に埋設されているため、いったん事故が発生すれば重大事故となります。 下水道施設は自然流下が基本のため、仮設の施設も考えにくく布設替えの考えではなく、管内のライニングなどの補強などの工法になります。 ただし、堺市の事故事例など、発生した場合影響が大きく本町では未然に関係各部署と連携し防止していますが、点検・調査は必要と考えています。
19	最下流の汚水処理場では様々な機械設備にはメンテナンス経費をかけて実施している。 ※学識経験者からの汚水処理場の状況の説明	本町の汚水が流入する流域下水道処理場の中部水みらいセンターにおいても、関連市町の負担金を徴収し、大阪府にて実施しています。
20	泉州地域の処理場は、大阪府下では比較的新しいですが、供用開始から30年が経過し、機械設備では15年で減価償却は終わり、設備については適時更新しないと処理できなくなるため、長寿命という手法でなるべく長く使用できるようにしながら、駄目な部分は更新していく手法をとっている。 ※学識経験者からの汚水処理場の状況の説明	本町ではマンホールポンプ場が45箇所あり、日常点検のほか機械設備であるため、15年で順次更新しています。

案件3 スローガン・キャッチフレーズについて

事務局説明 パワーポイントにて説明 資料P39・40

1. キャッチフレーズの目的について
熊取町第4次総合計画 大綱4
「住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちをめざす」を基本として検討

委員全員一致で

【「住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちを支える くまとの下水道」に決定】

意見

下水道は表に出ない施設で、地下にあるため「支える」が下水道の役割にあっている

案件4 委員会の公開について

事務局説明 パワーポイントにて説明 資料P41

1. 委員会の公開について
次回より、本委員会を他の町設置の委員会と同じく公開していきたい。
公開については、先着5名の傍聴席を入口付近へ設置
委員会の意見、内容についても町ホームページで概要を公開

委員全員一致で

【公開とする】

案件5 今後のスケジュールについて

事務局説明 パワーポイントにて説明 資料P42～P44

1. 今後のスケジュール
概ね3ヶ月に一回程度
時間帯は平日の午後 2時間程度の予定

【意見なし】